

葉山土工協会長



高騰資材対応へ団体も

単品スライド実現に言及

ければ、(土工協の)支
部、本部に問題をつけて
ほしい」とし、土工協と
しても契約額変更を視野
に、単品スライドも含め
たスライド条項の適用を
発注者に求めていく考え
を明らかにした。同日に
開いた理事会後の会見で
述べた。

これまでは団体としてス
ライド条項の適用を働き
かけることに否定的だっ
た。

た葉山会長が、今回取り
組む姿勢を見せたのは、
民間建築だけでなく、大
型土木工事でも資材高騰
の影響が大きくなるもの
の判断もある。

高騰問題に取り組むこと
に期待感を示した。
今後の取り組みは、
「現場や支店などが公共
発注者と折衝し、それで
だめなら、(土工協の)
支部。それでもだめなら
本部が対応する」とし、
「こうした活動をいつか
在価値になる」と説明し

一方、山本卓朗副会長
はことしの国土交通省と
の意見交換会のテーマと
して、「ゆとりある現場
の実現、総合評価方式の
課題と二層の充実、この
2点が大きなテーマと
なる」とことを明らかにし

日本土木工業協会の葉
山善児会長は6日、鋼材
など資材価格が急上昇し
ていることが施工会社に
とって大きな影響を与え
ることに對し「基本的に
は各企業の現場や支店、
本社が対応する問題」と
した上で、「解決できな

民間建築工事の場合、
発注者に価格転嫁を要請
しても、「公共工事で行
われない」とことを理
由に拒否されることもあ
り、公共発注者の資材高
騰への対応が必要不可欠
との声が業界内で強まっ
ていた。